北九州工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	総合英語ＡⅠ

科目基礎情報

科目番号	0100	科目区分	一般 / 必修
授業形態		単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	生産デザイン工学科（情報システムコース）	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	『はじめてのTOEIC L&R テスト全パート総合対策』（改訂版）(塚田幸光著　アスク 2021）/ 『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3 』(Educational Teaching Service)		
担当教員	中村 嘉雄,東島 加奈		

到達目標

・TOEIC の各パートの内容、その英文を理解できる。
・TOEICに頻出の基本的な語彙、英文法を理解できる。
・制限時間に合わせてTOEICの各パートを解くことができる。
・基本的なビジネス表現や書類のスタイルを理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	各パートの内容を８割以上理解できる。	各パートの内容を７割以上理解できる。	各パートの内容を６割未満しか理解できない。
評価項目2	各パートの８割以上の語彙、英文法を理解できる。	各パートの７割以上の語彙、英文法を理解できる。	各パートの語彙、英文法を６割未満しか理解できない。
評価項目3	各パートを制限時間内に８割以上解くことができる。	各パートを制限時間内に７割以上解くことができる。	各パートを制限時間内に６割未満しか理解できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	TOEICの各パートを理解し、制限時間内に効率よく解くノウハウを学ぶ。また、TOEICの問題を通して、ビジネス英語における初歩的な語彙や文法、ビジネス書類の形式も学ぶ。
授業の進め方・方法	毎時間、TOEICの各個別パートに焦点を当て、時間を計測しながら問題を解いていく。効率よく解くことを学ぶと同時に、ビジネス英語の基礎も学ぶ。定期的に課題小テストを行う。
注意点	・実際に問題を解いていくので積極的に授業に参加する態度が求められる。 ・付属のCDを用いて自宅での反復練習、語彙の習得が求められる。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス	TOEICとは？　勉強の仕方。
		2週	Part 1, Part 5	TOEICのPart 1, 5の特徴と攻略。TOEICで頻出の基礎文法。
		3週	Part2, Part 5	TOEICのPart 2, 5の特徴と攻略。TOEICで頻出の基礎文法。
		4週	Part 2, Part 5	TOEICのPart 2, 5の特徴と攻略。TOEICで頻出の基礎文法。
		5週	Part 3, Part 6	TOEICのPart 3, 6の特徴と攻略。TOEICで頻出の基礎文法。
		6週	Part 3, Part 6	TOEICのPart 3, 6の特徴と攻略。TOEICで頻出の基礎文法。
		7週	2週から6週までのまとめ　確認小テスト	これまでのまとめを行う。
		8週	中間試験	授業や自宅での練習成果確認。
	2ndQ	9週	試験解説	
		10週	Part 3, Part 7	TOEICのPart 3, 7の特徴と攻略。ビジネス書類の形式。
		11週	Part 4, Part 7	TOEICのPart 4, 7の特徴と攻略。ビジネス書類の形式。
		12週	Part 4, Part 7	TOEICのPart 4, 7の特徴と攻略。ビジネス書類の形式。
		13週	Part 4, Part 7	TOEICのPart 4, 7の特徴と攻略。ビジネス書類の形式。
		14週	Part 7	TOEICのPart 7の特徴と攻略。ビジネス書類の形式。
		15週	9週から14週までのまとめ　と　確認小テスト	
		16週	前期定期試験	テストや自宅学習の振り返り、今後の目標設定。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	

				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	

評価割合

	試験	課題小テスト	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0